

2020年5月19日

会 社 名 株式会社アドバンスト・メディア  
(コード番号：3773 東証マザーズ)  
住 所 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号  
サンシャイン60 42階  
代 表 者 代表取締役 鈴木清幸  
問合せ先 常務取締役経営推進本部長 立松克己  
電話番号 03-5958-1031

## <マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

### ■開催状況

開催方法：動画配信

配信日時：2020年5月12日（火）以降

説明会資料名：「株式会社アドバンスト・メディア 2020年3月期 決算説明会資料」

### 【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料



# 株式会社アドバンスト・メディア

## 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月12日



# 見通しに関する注意事項

- 本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。
- その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。



# 1. 業績の概況

常務取締役 経営推進本部長  
立松 克己



Advanced Media, Inc.

# 1-1. 決算ハイライト

売上高 4,747百万円 11.5%増収

- ✓ BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部・VoXT事業部が大幅に増収し前期比19.3%増収
- ✓ BSR2（第二の成長エンジン）において、ビジネス開発センターが大幅に増収し前期比5.5%増収

営業利益 696百万円 4.0%減益

- ✓ BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部・VoXT事業部が増益したこと等により前期比4.1%増益
- ✓ BSR2（第二の成長エンジン）において、連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.とグラモの赤字幅拡大が影響し前期比で減益

経常利益・当期純利益 減益

- ✓ 前期に為替差益を計上したものの、当連結会計年度では為替差損を計上したこと等から減益

## 1-2. 連結損益計算書

単位：百万円

	2020年3月期		2019年3月期		対前年増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	4,747	100.0%	4,256	100.0%	491	11.5%
原価	1,490	31.4%	1,239	29.1%	251	20.3%
売上総利益	3,256	68.6%	3,016	70.9%	240	8.0%
販売管理費	2,561	53.9%	2,292	53.9%	269	11.7%
営業利益	695	14.6%	724	17.0%	-29	-4.0%
経常利益	815	17.2%	909	21.4%	-94	-10.3%
親会社に帰属する 当期純利益	692	14.6%	947	22.3%	-255	-27.0%

# 1-3. 各指標の推移

単位：百万円

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	2,291	2,581	3,683	4,256	<b>4,747</b>
(増収率)	25.7%	12.6%	42.7%	15.6%	<b>11.5%</b>
売上総利益	1,401	1,662	2,656	3,016	<b>3,256</b>
(売上高比率)	61.2%	64.4%	72.1%	70.9%	<b>68.6%</b>
販売管理費	1,669	1,740	2,008	2,292	<b>2,561</b>
(売上高比率)	72.9%	67.4%	54.5%	53.9%	<b>53.9%</b>
営業利益	-267	-77	647	724	<b>695</b>
(売上高比率)	-	-	17.6%	17.0%	<b>14.6%</b>

# 1-4. 分野別の実績①

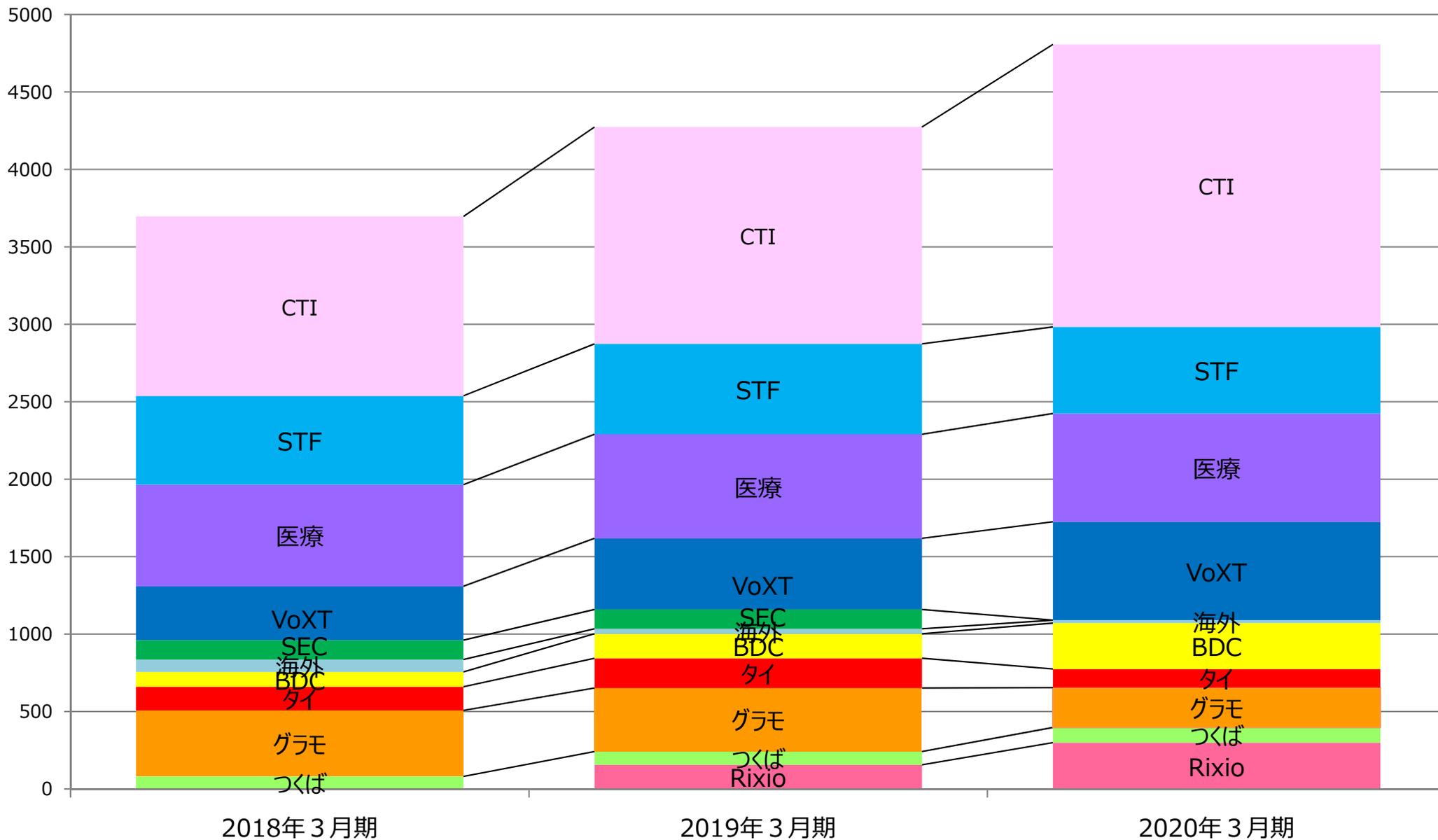
単位：百万円

		2020年3月期		2019年3月期		対前年増減		
		金額	比率	金額	比率	金額	比率	
B S R 1	CTI事業部	1,824	38.4%	1,399	32.9%	425	30.3%	
	STF事業部	559	11.8%	584	13.7%	-25	-4.3%	
	医療事業部	699	14.7%	672	15.8%	27	3.9%	
	VoXT事業部	635	13.4%	459	10.8%	176	38.2%	
	合計	3,718	78.3%	3,116	73.2%	602	19.3%	
B S R 2	海外事業部	19	0.4%	32	0.8%	-13	-40.6%	
	ビジネス開発センター	296	6.2%	158	3.7%	138	87.4%	
	連結 子 会 社	AMIVOICE THAI	121	2.5%	192	4.5%	-71	-37.0%
		グラモ	257	5.4%	410	9.6%	-153	-37.3%
		速記センターつくば	98	2.1%	86	2.0%	12	14.0%
		Rixio	299	6.3%	(※3Qから) 156	3.7%	143	91.6%
合計	1,093	23.0%	1,036	24.3%	57	5.5%		
連結調整		-69	-1.5%	-31	-0.7%	-	-	
合計		4,747	100.0%	4,256	100.0%	491	11.5%	

## 1-5. 分野別の実績②

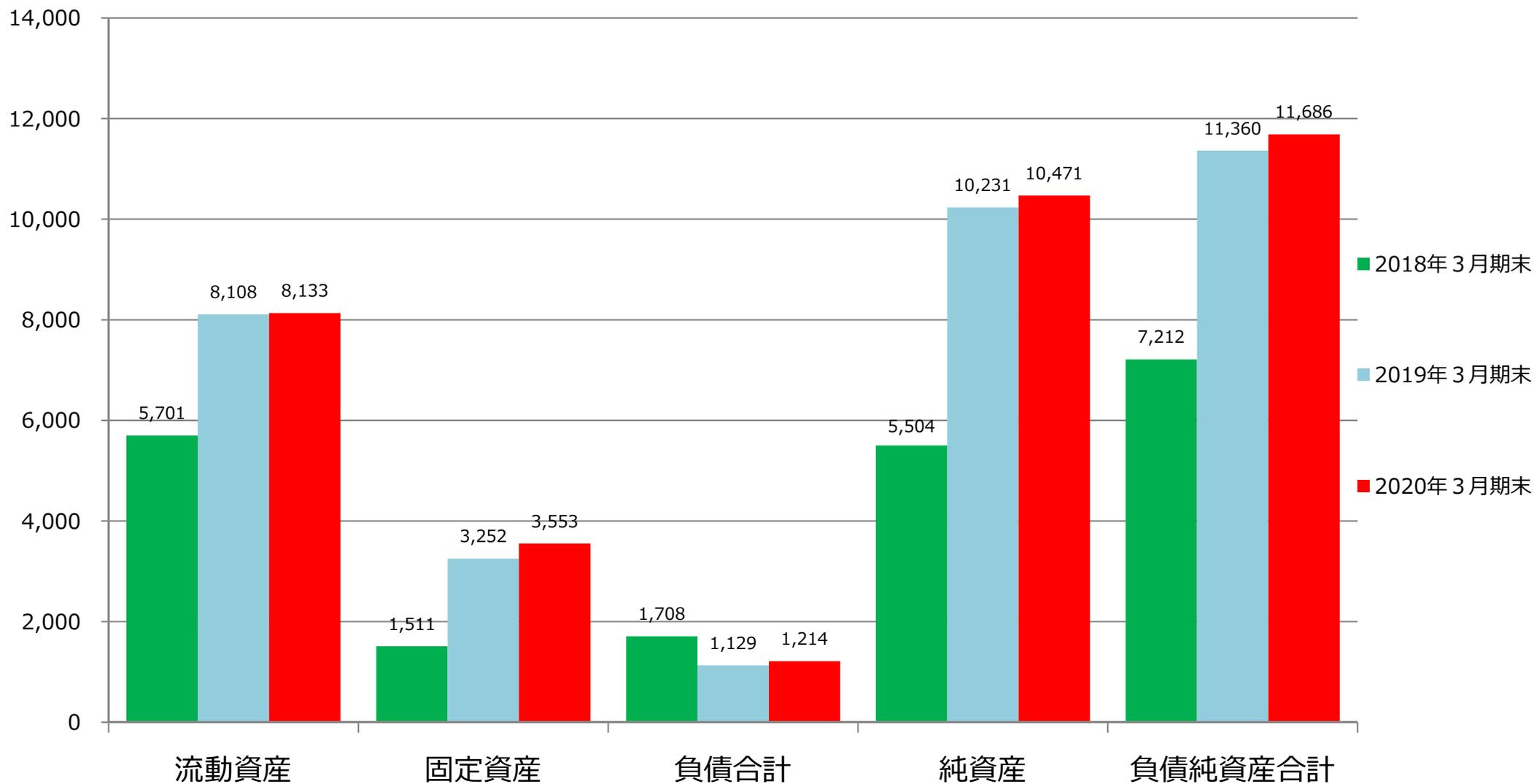
		増収増益	増収減益	減収増益	減収減益
CTI事業部		◎			
STF事業部					◎
医療事業部			◎		
VoXT事業部		◎			
BSR 1		◎			
海外事業部					◎
ビジネス開発センター		◎ (黒字化)			
連結子会社	AMIVOICE THAI				◎
	グラモ				◎
	速記センターつくば		◎		
	Rixio (※前期3Qから)	-	-	-	-
BSR 2			◎ (赤字幅拡大)		
AMIグループ			◎		

# 1-6. 分野別の実績③



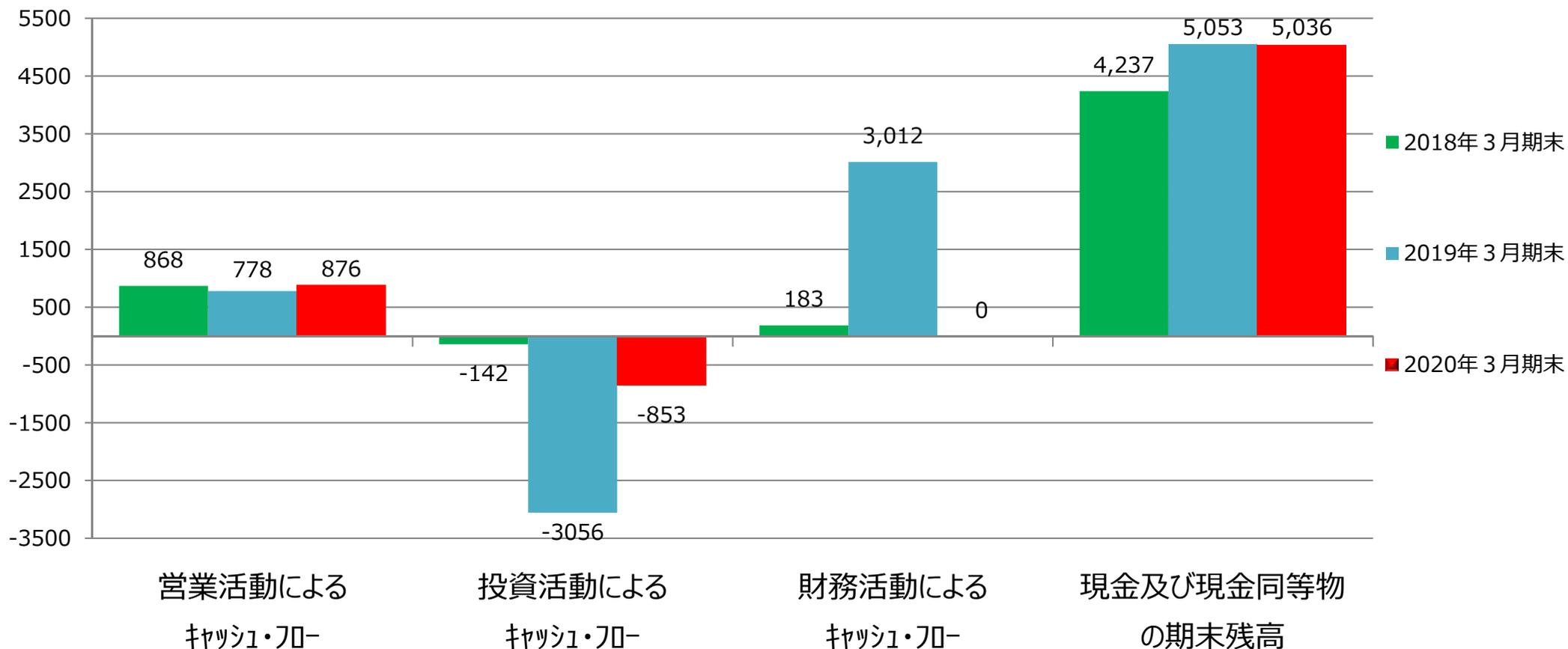
# 1-7. 連結貸借対照表

単位：百万円



# 1-8. キャッシュフロー計算書

単位：百万円



## 増減の要因

- 投資活動：前年同期に、投資有価証券の取得による支出1,500百万円
- 財務活動：前年同期に、新株予約権の行使による収入2,990百万円

# 1-9. 2021年3月期連結業績予想

## 売上高5,200百万円、営業利益900百万円

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	5,200	900	880	780	42.69円
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	4,747	695	815	692	37.87円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。



## 2. 事業展開の概要

代表取締役会長兼社長  
鈴木 清幸



Advanced Media, Inc.

## 2-1. 事業拡大の取り組み実績

### (BSR 1) 第一の成長エンジン



CTI事業 / STF事業  
医療事業 / VoXT事業

売上高

3,718百万円  
前期比 19.3%増

営業  
利益

993百万円  
前期比 4.1%増

### (BSR 2) 第二の成長エンジン



BDC/海外事業 / AMIVOICE THAI  
グラモ/速記センターつくば / Rixio

売上高

1,093百万円  
前期比 5.5%増

営業  
利益

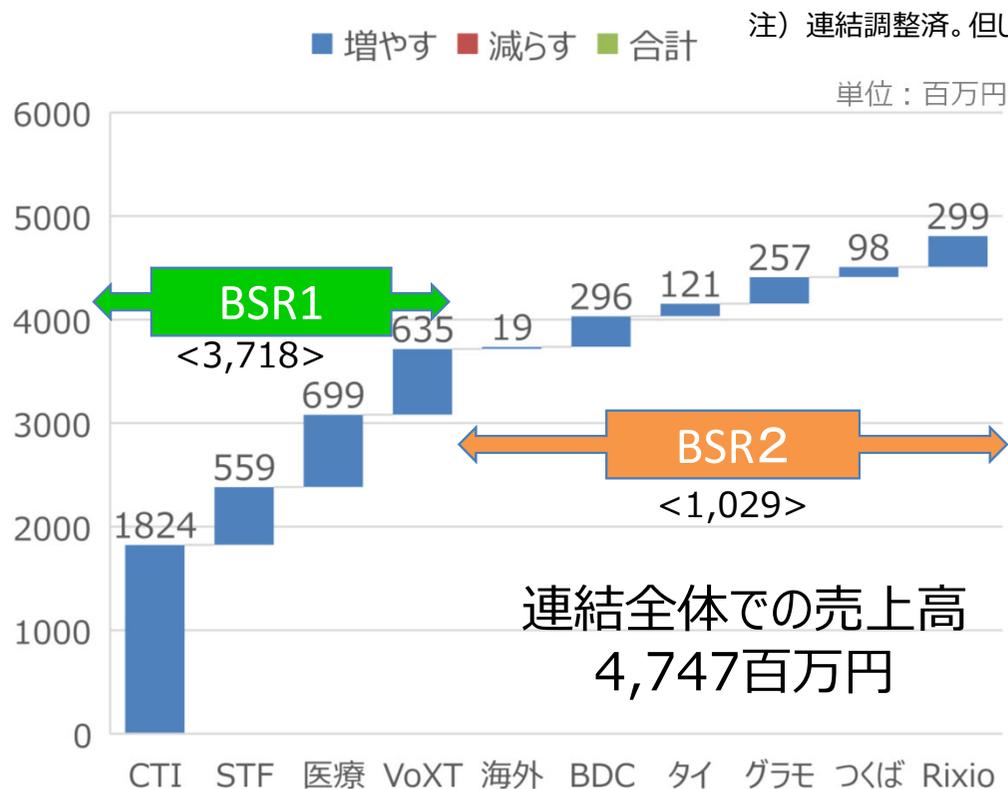
-301百万円  
赤字幅拡大

注) 連結調整前

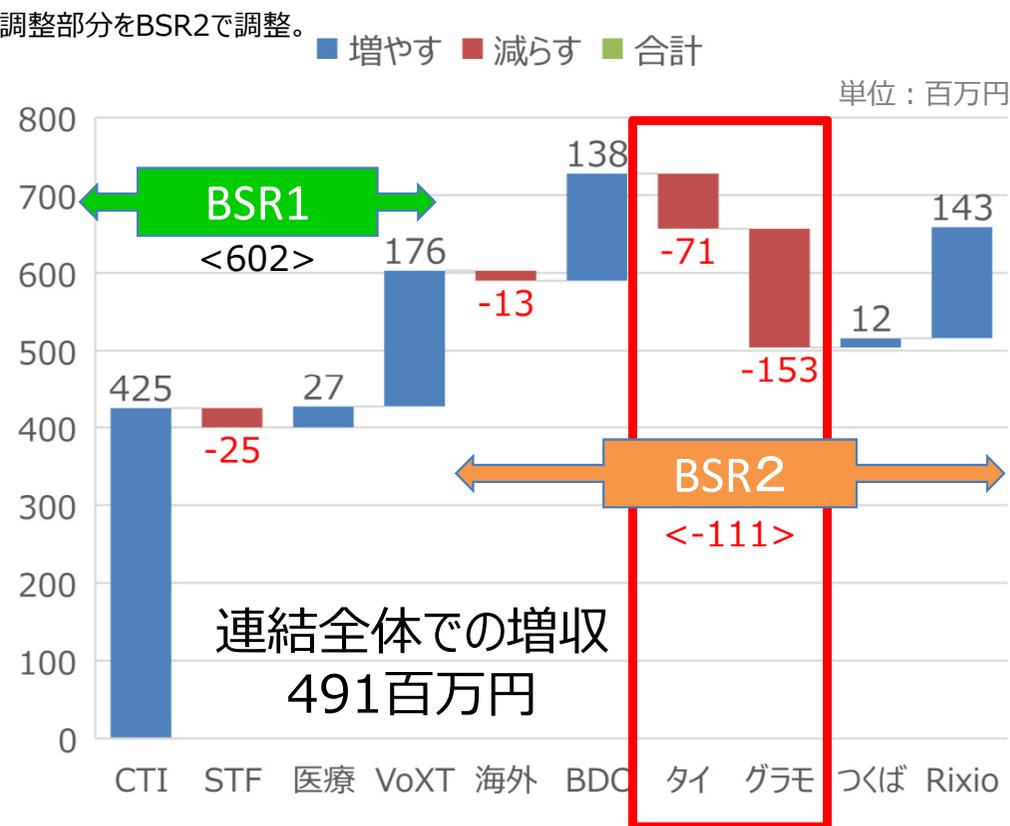
**BSR 1 は 5 年連続増収増益を実現**  
**BSR 2 は連結子会社の減収と赤字幅拡大により増収減益**

## 2-2. 売上高の増収分析

### 分野別の売上高 (FY2019)



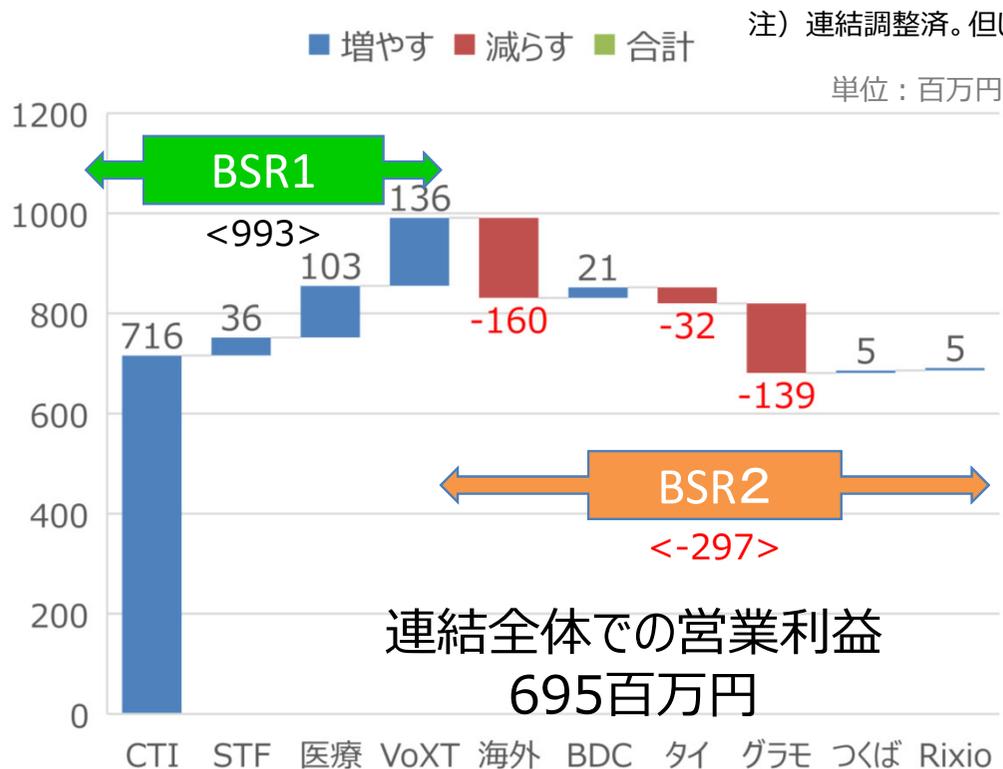
### 分野別の売上高の対前期比



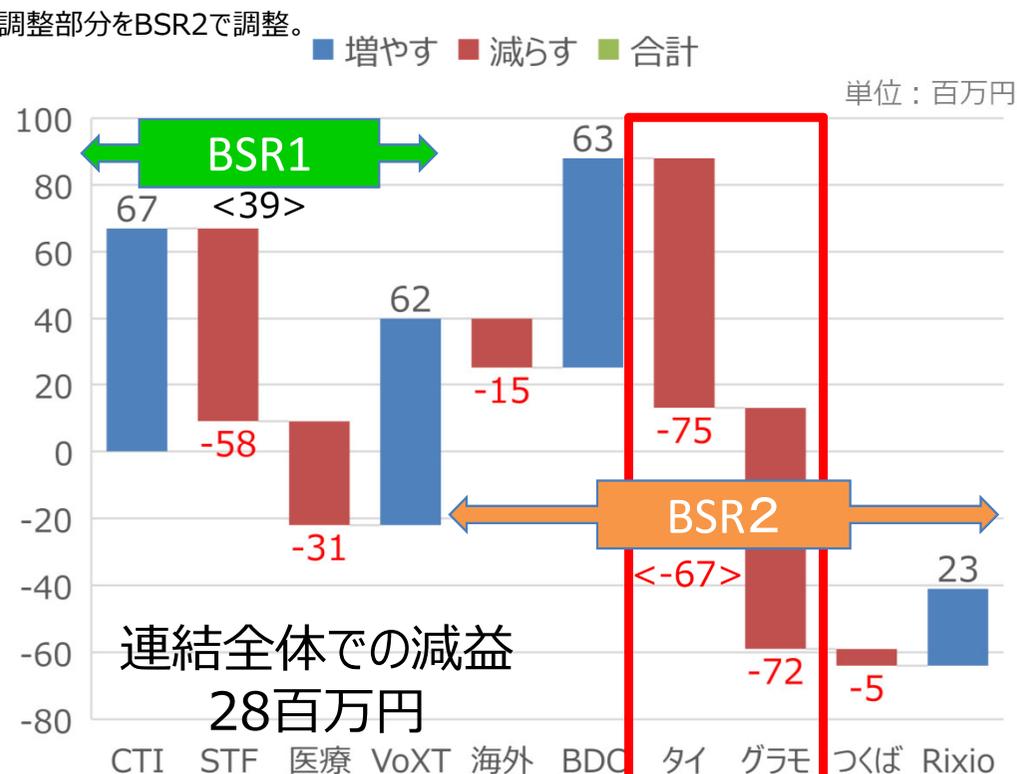
**BSR 1、単体それぞれで増収を実現し、  
連結子会社 2 社、約 2.2 億円の減収を吸収、  
グループ全体での 11.5% 増収を実現した**

## 2-2. 営業利益の減益分析

### 分野別の営業利益 (FY2019)



### 分野別の増益減益 (対前期比)



**BSR 1、単体それぞれで増益を実現したが、  
連結子会社 2 社、約 1.5 億円の減益をカバーしきれず、  
グループ全体では 4.0% 減益となった**

## 2-3. 切り拓いてきた音声認識市場

※2020年3月現在

### 自治体・民間 累計454施設

- 議会・一般会議議事録作成
- 講義、講演、インタビュー録作成
- クラウド文字起こしサービス

### 13,836施設(38,827ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート
- 電子カルテ向け音声入力
  - ・病院 ・診療所 ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- ワークシェアリングサービス

### 261社(15,966ライセンス)

- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理



### 325社(41,500ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
  - ・オペレータ能力UP
  - ・リアルタイムモニタリング
  - ・通話録音の検索と見える化

### 45社

- コンシューマ向けクラウドサービス
- コンシューマスタンドアロンアプリ
- 対話エージェント

### 659社

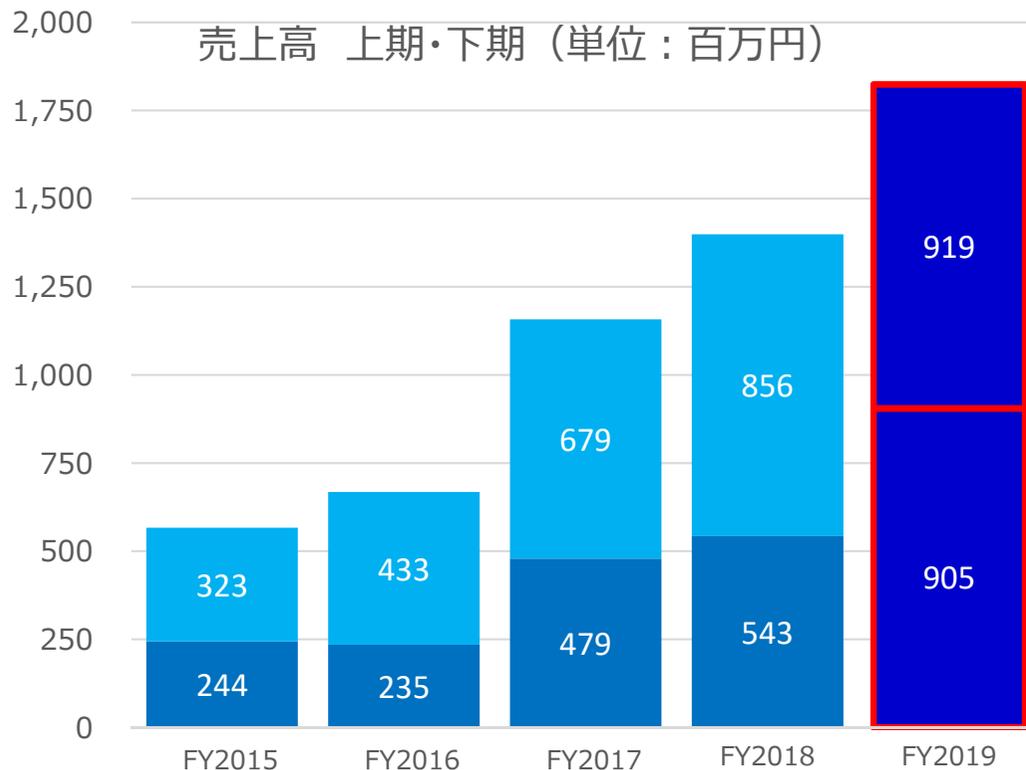
- 法人向け営業日報入力
- 法人向けクラウドサービス
- 接客・対面会話の見える化ソリューション
- 音声認識開発キット (SDK)

### 5,194ライセンス

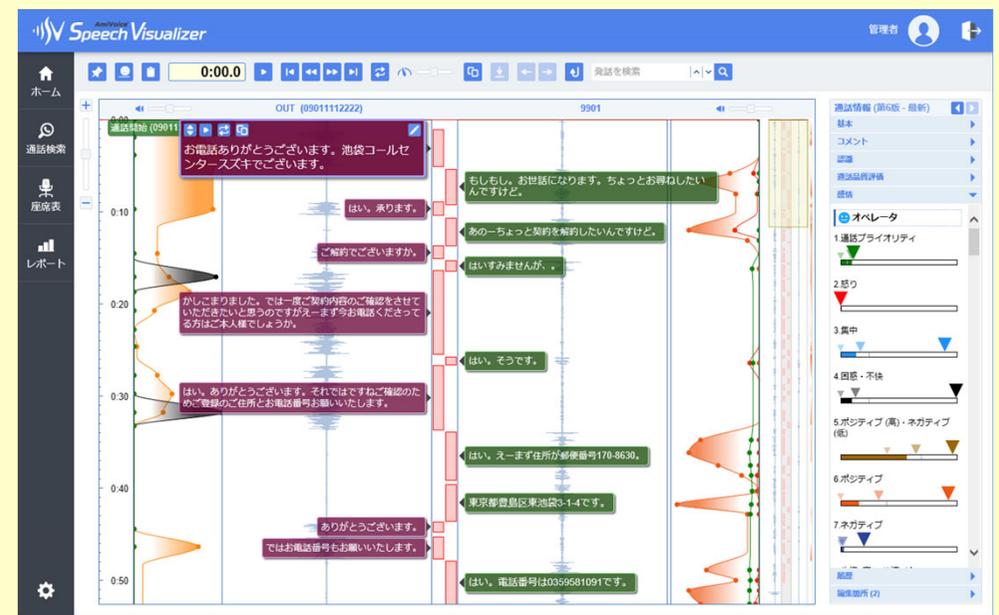
- ハンズフリー・アイズフリー操作
- ボイスピッキング
- データ入出力、記録
- 作業報告、点検、結果入力

## 2-4. CTI事業部 (BSR 1)

- コンタクトセンター市場において競合企業が参入してきているものの、当社のAI音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite**」の認識精度や機能、導入実績等の競争優位性の高さに加えて、パートナー連携を強化することで、シェアの拡大を進める
- ストックおよびフローそれぞれの大型案件の獲得が堅調に進み、前期比30.3%増収、および、前期比10.3%増益（ストック比率 前期28.7%→今期32.6%）



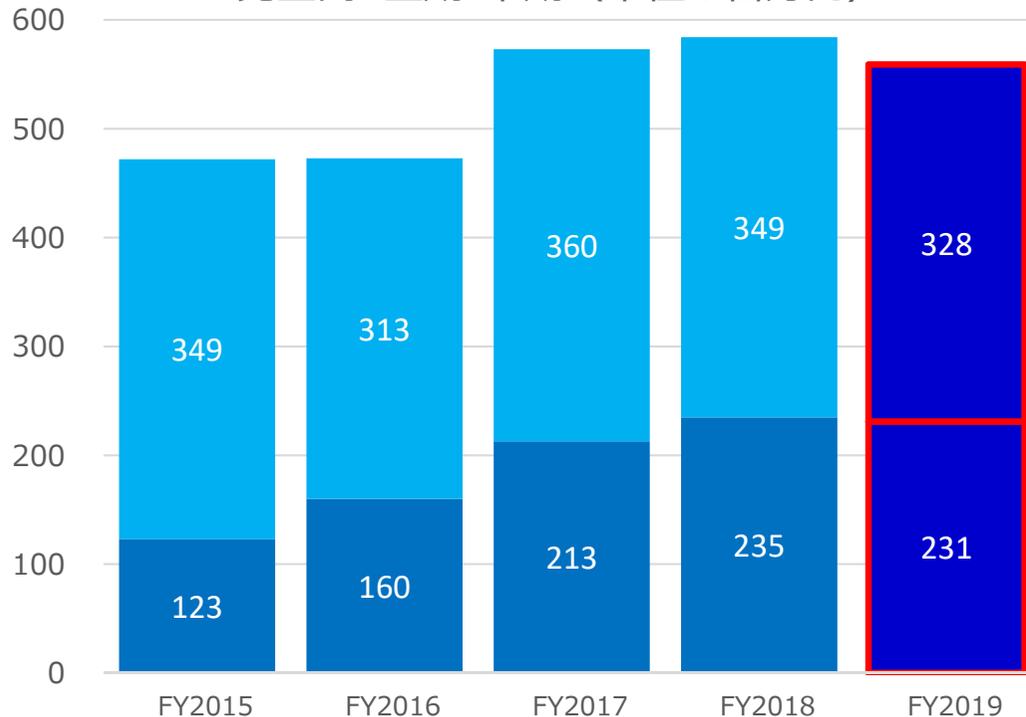
### ◆ Communication Suiteの画面イメージ



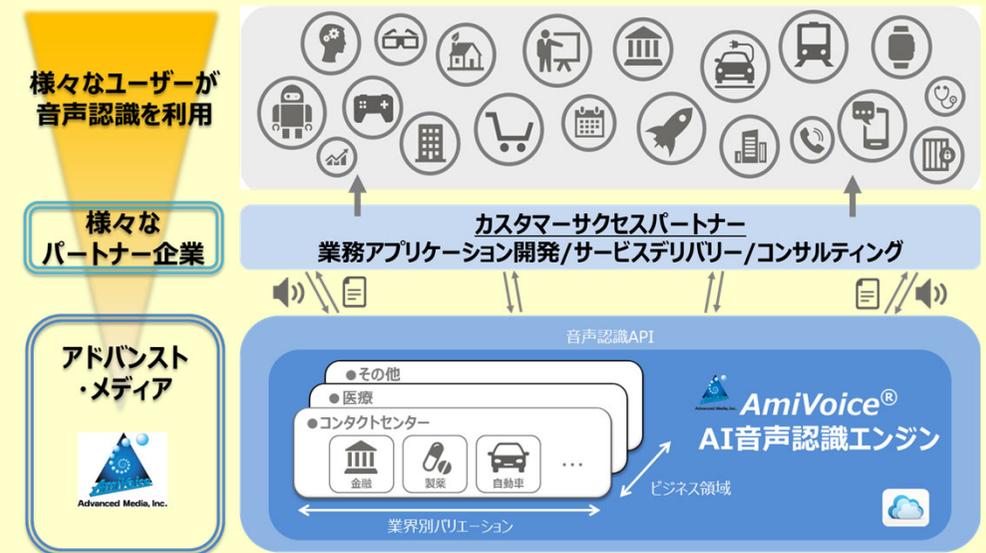
## 2-5. STF事業部 (BSR 1)

- AI音声認識プラットフォームサービス「**AmiVoice® Cloud Platform (ACP)**」をリリース、利用時間に応じた安価な価格で音声認識エンジンをそのまま利用することが可能に
- お客様窓口等の対面での商談をAI音声認識技術で文字化する「対面業務見える化ソリューション」の拡販を計画していたものの、営業活動が想定していたより時間を要し、計画を下回ったため、前期比で減収減益（ストック比率 前期38.3%→今期49.4%）

売上高 上期・下期 (単位：百万円)

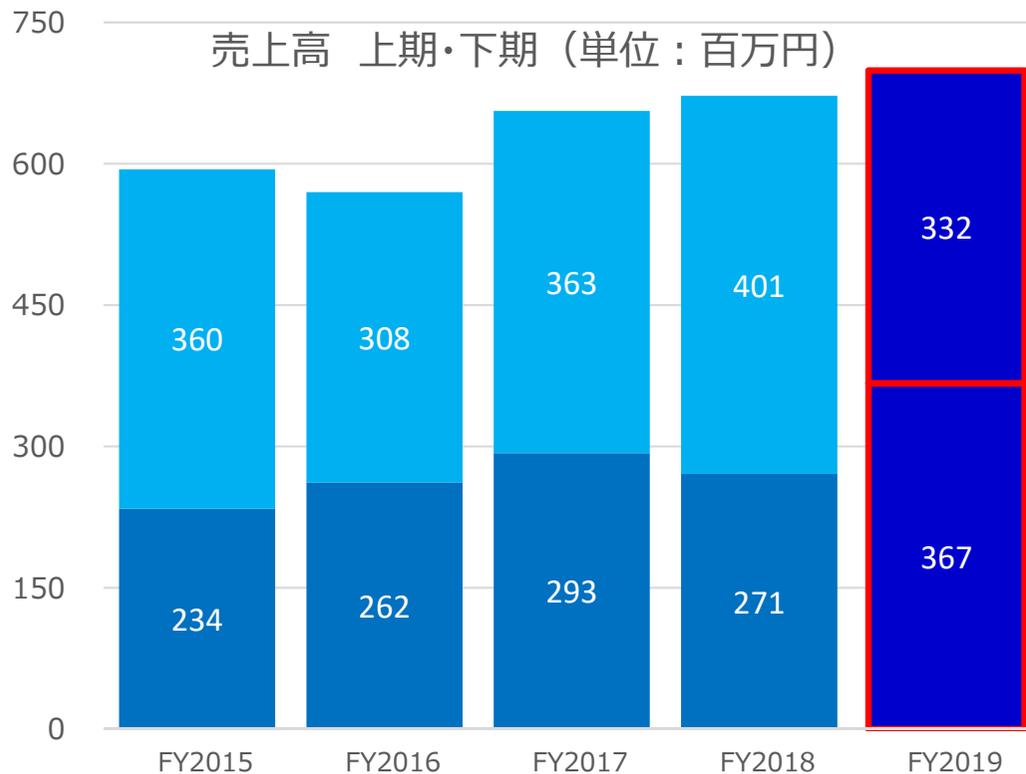


### ◆ AmiVoice® Cloud Platform (ACP)

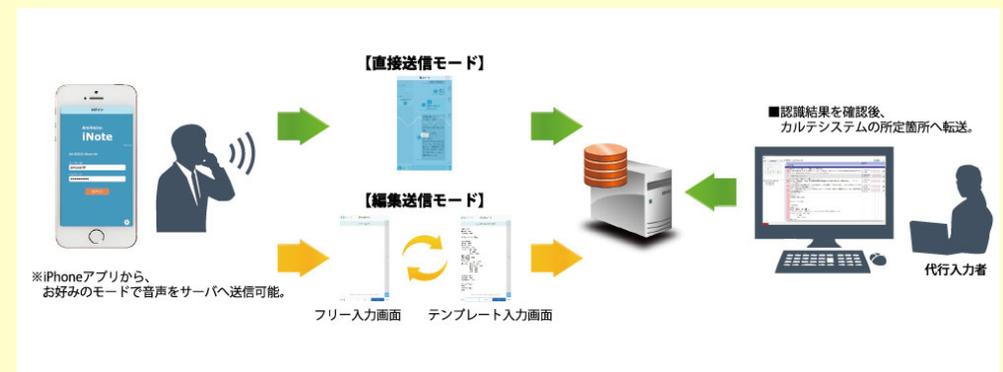


## 2-6. 医療事業部（BSR 1）

- 病院における医師や看護師、医療従事者の生産性向上の取り組みの中で、効率的にカルテ入力や帳票/報告書作成等を行うニーズに対して、AI音声入力ソフト「**AmiVoice® Ex7**」シリーズや、モバイル向けのAI音声入力サービス「**AmiVoice® SBx Medical**」、ワークシェアリングサービス「**AmiVoice® iNote**」などの販売や導入を進める
- 来期以降を見据えた各種新サービスの開発や試行を進めたため、前期比で3.9%増収したものの減益（ストック比率 前期17.8%→今期21.1%）

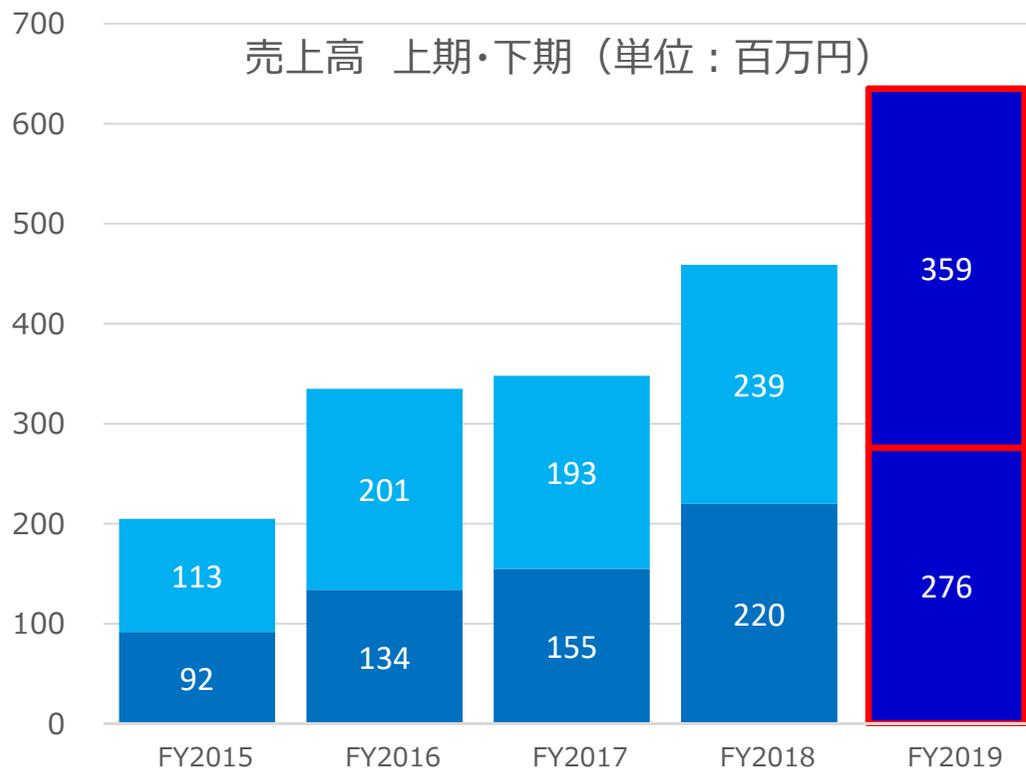


### ◆ AmiVoice® iNoteの活用イメージ

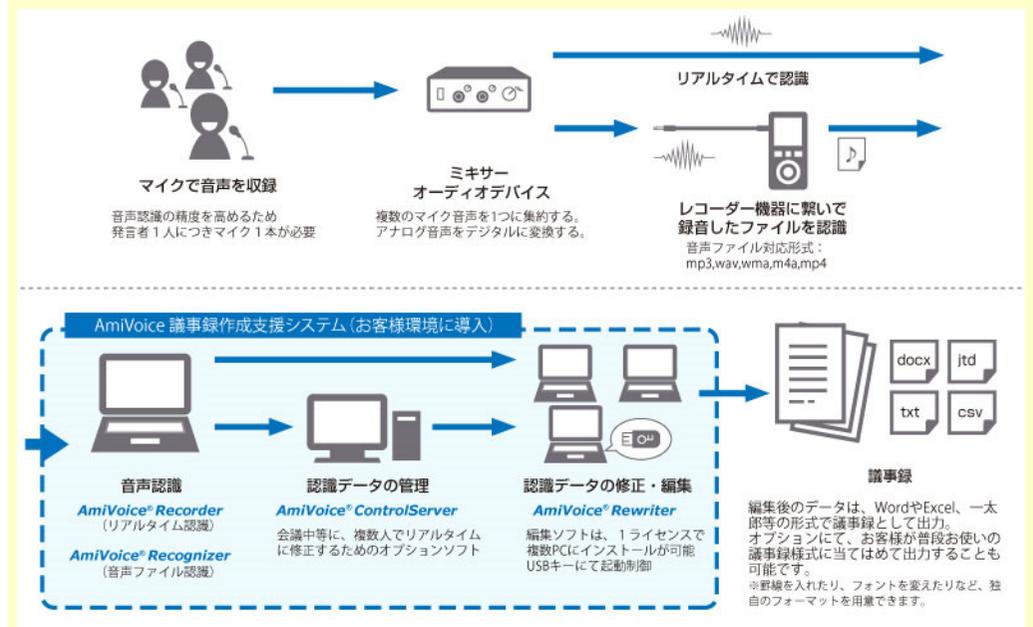


## 2-7. VoXT事業部 (BSR 1)

- 地方自治体、大手民間企業や報道機関等における生産性向上の取り組みの中で、効率的に議事録や会議録の作成、あるいは、文字起こし等を行うニーズに対して、AI音声認識を活用した議事録作成支援システム「**AmiVoice® MinutesWriter**」や議事録向け**AmiVoice®**クラウドサービス「**ProVoXT**」の採用が進む
- パートナー企業との連携強化により販売や導入が加速し、前期比38.2%増収、および、前期比83.7%と大幅に増益（ストック比率 前期44.0%→42.5%）



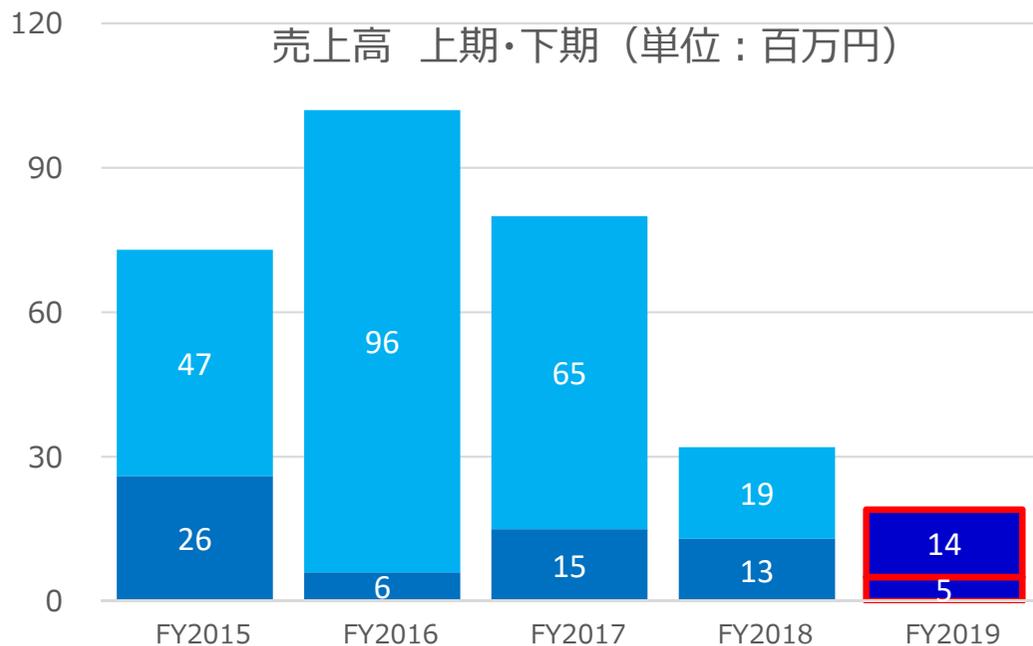
### ◆ 議事録作成の流れ



## 2-8. BSR 2 ①

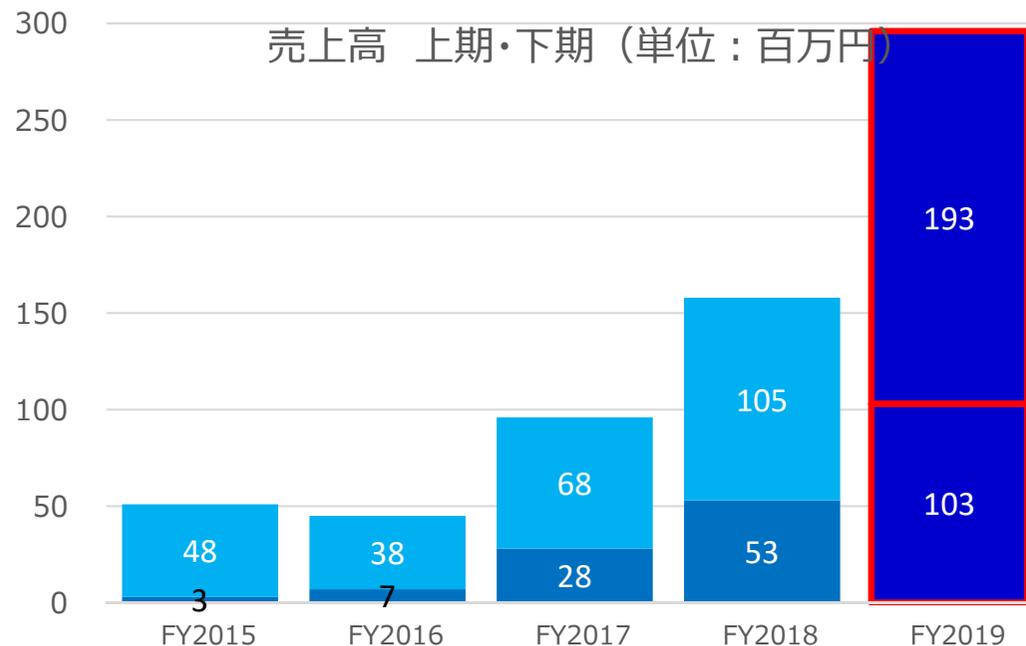
### 海外事業部

- 事業構造の再構築を優先し、中国語版AI音声認識・**AmiVoice**® エンジンのさらなる認識精度向上や、コールセンターに続く新しい分野への事業開発を進めたため、前期比で減収減益



### ビジネス開発センター

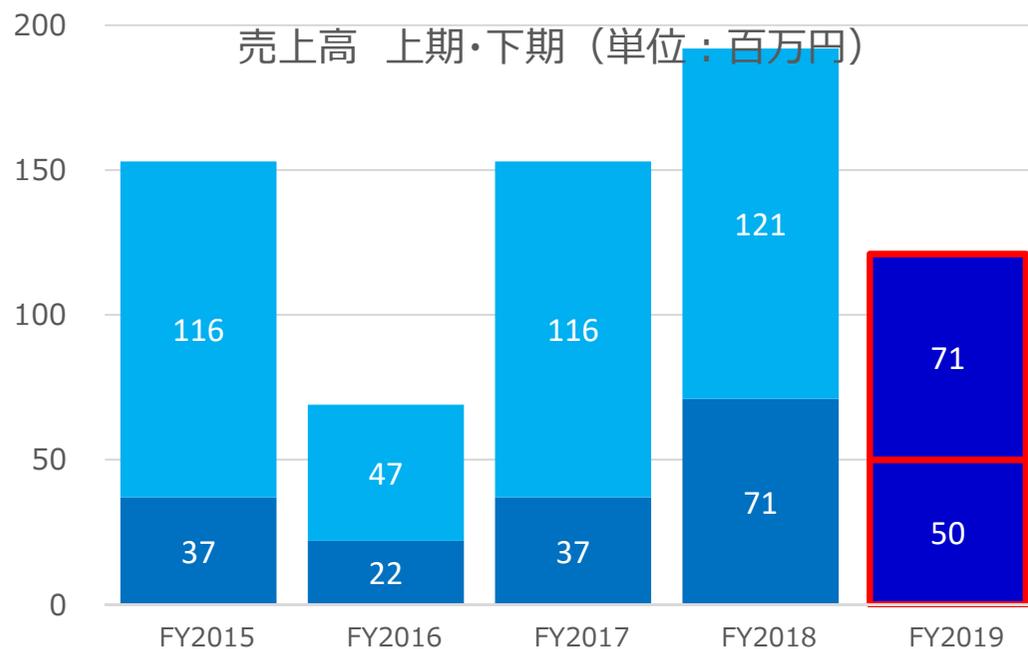
- 建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「**AmiVoice**® スーパーインスペクションプラットフォーム (SIP)」のユーザー企業数が増加
- 同クラウドサービスを利用した人材 (AISH) サービスも堅調に推移
- 前期比87.4%増収し黒字化を達成



## 2-9. BSR 2 ②

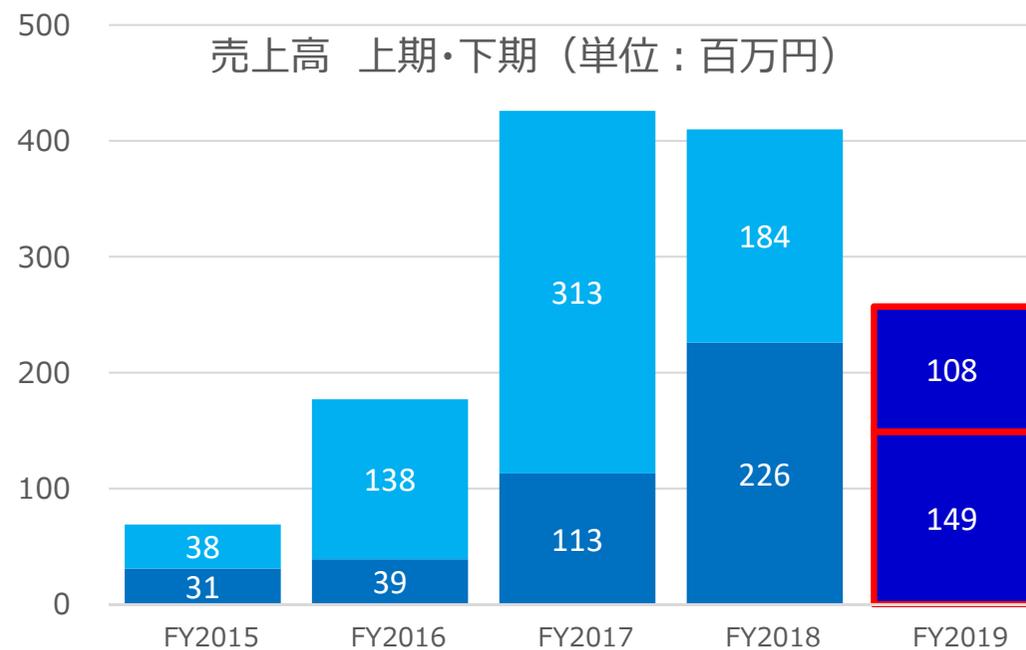
### 連結子会社 (AMIVOICE THAI)

- 想定していた大型案件の獲得が進まず、当初計画を下回り、前期比大幅な減収減益

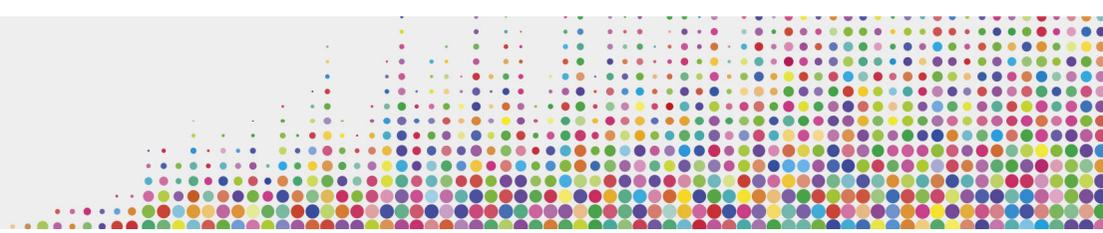


### 連結子会社 (グラモ)

- 大手賃貸アパート会社への提案や導入に向けたトライアルを進めたものの、受注獲得出来ず
- 既存大口顧客の案件獲得が想定を下回ったこと等から、前期比大幅な減収減益

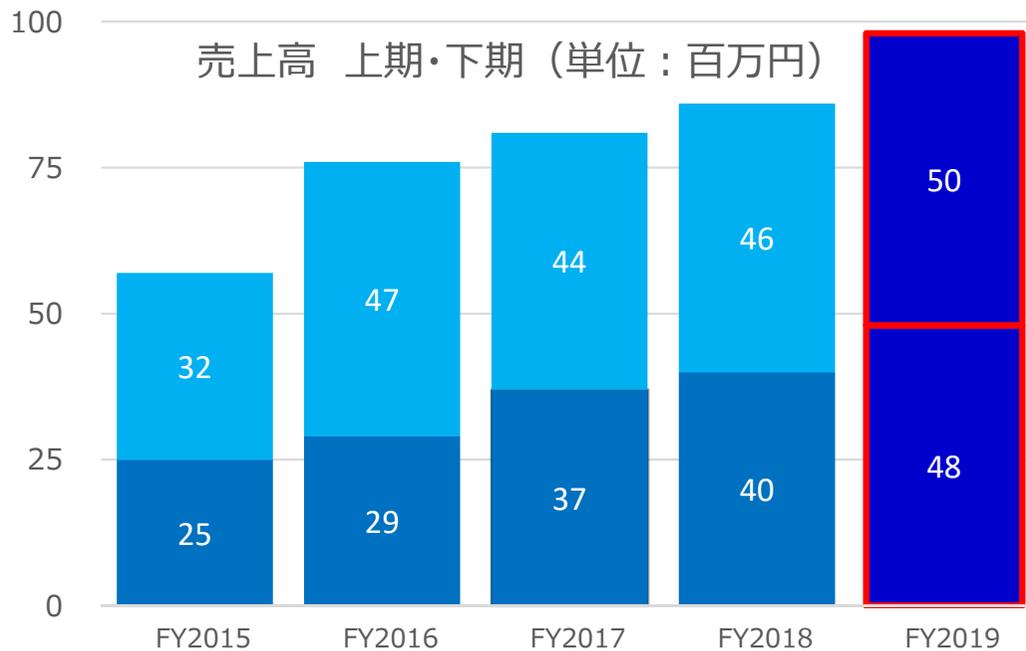


# 2-10. BSR 2 ③



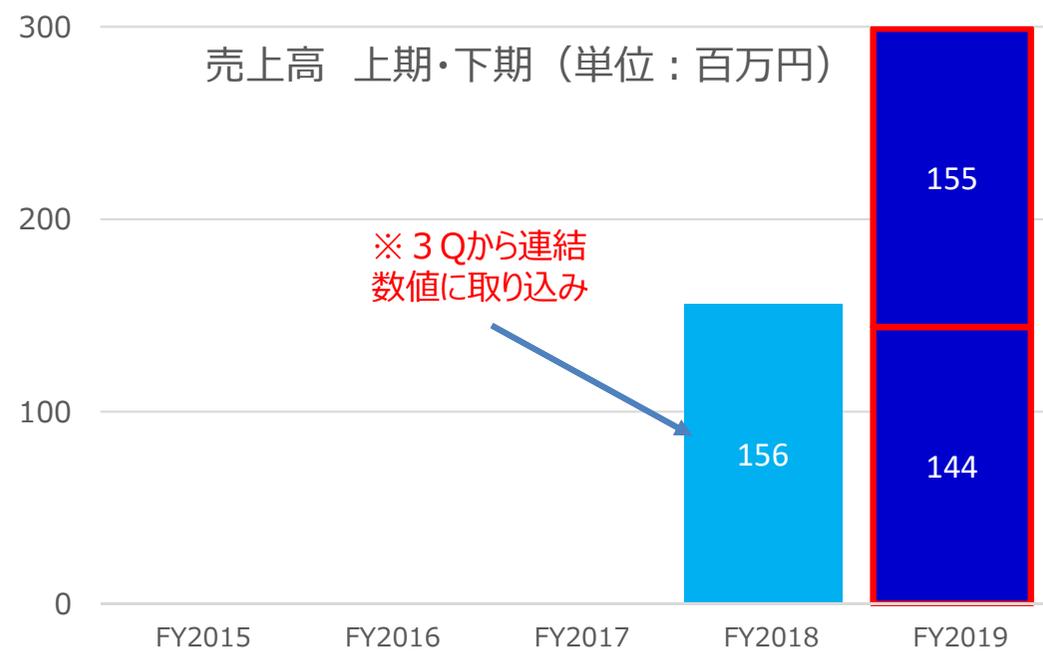
## 連結子会社（つくば）

- 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進め、前期比で増収したものの、案件あたりの利益率が減少し減益



## 連結子会社（Rixio）

- ビジネス開発センターと連携し、人材サービスの拡大/強化を進める



## 2-11. 今後の見通し

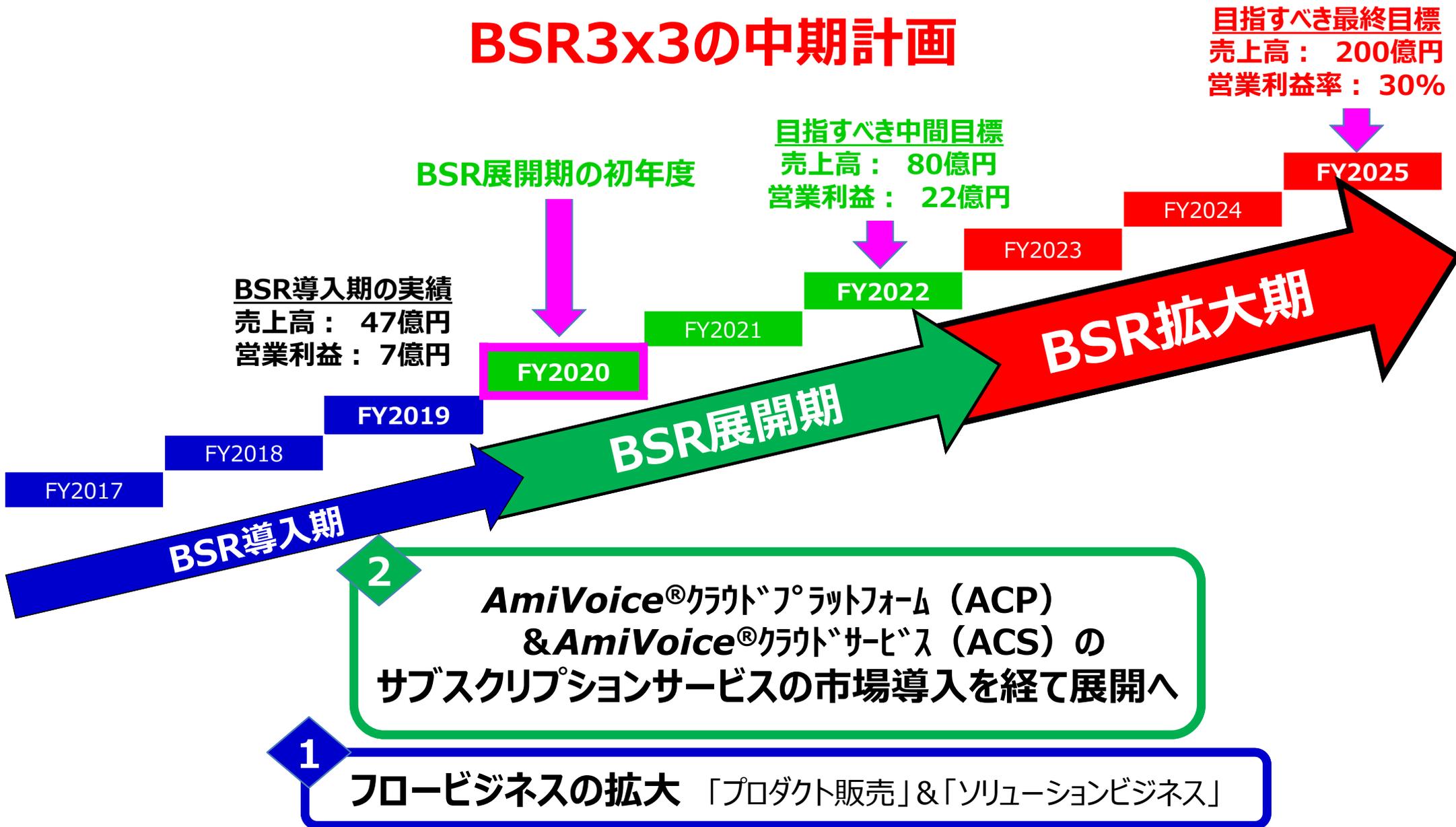
### BSR3x3の中期計画

目指すべき最終目標  
売上高： 200億円  
営業利益率： 30%

BSR展開期の初年度

目指すべき中間目標  
売上高： 80億円  
営業利益： 22億円

BSR導入期の実績  
売上高： 47億円  
営業利益： 7億円



## 2-12. 目標達成の根拠

### ●新型コロナと共存する新たな社会

- 『社会の抵抗と復興』を手助けできる力が必要
  - ・当社の抵抗力（音声認識市場を牽引：右図参照）
  - ・抵抗力に基づく復興を助ける力“レジリエンスカ”を提供する

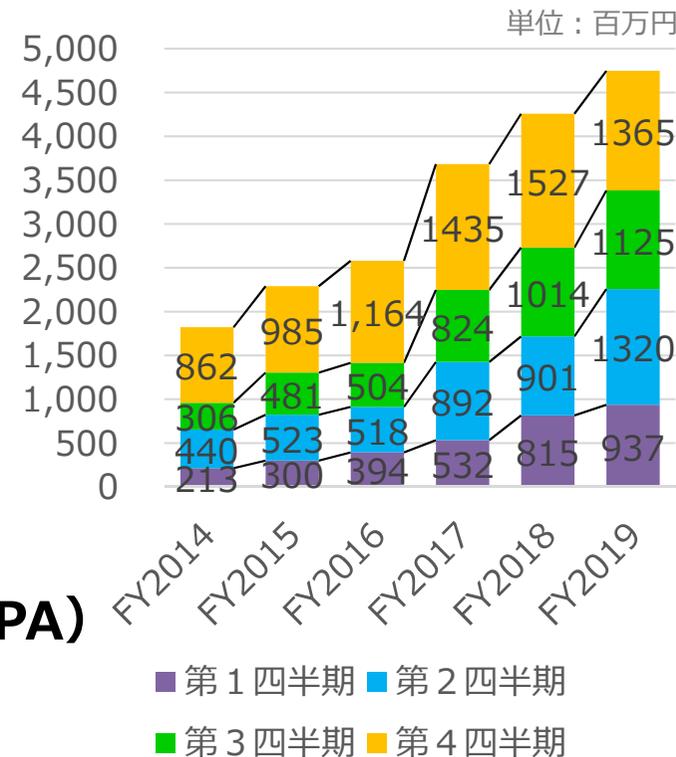
### ●スピーチ・プロセス・オートメーション（SPA）の時代

- 「非対面」「リモートワーク」がキーワード
  - ・「非対面」のWeb会議、Webinarにはテレビ画面が必須
  - ・目的を叶えるには人を動かす「声」の力が不可欠
  - ・「リモートワーク」の BSR（超音声認識）による高効率化へ
  - ・合目的型・音声認識サービス（CSV）の提案する（RPA→SPA）

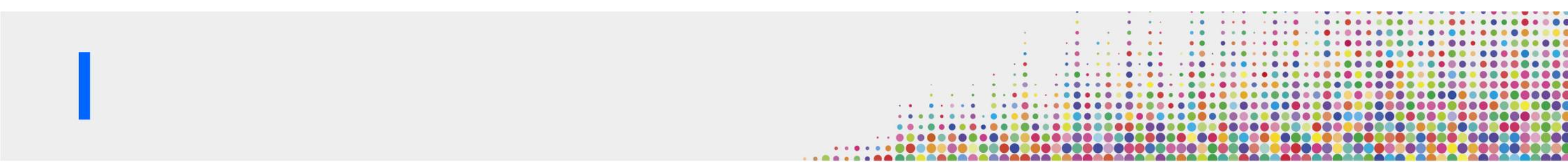
### ●CSV（Conversational Smart Visualizations）とは

- 会話を前提とした賢い見える化 → 自然言語処理による価値あるアウトプット
  - ・スピーチ・フロント・デバイス（SFD：WT01、ST01、Hub01等）
  - ・スピーチ・トランスフォーメーション・サービス（STS：ボイスアシスト、スクライブアシスト等）
  - ・ハード（SFD）とソフト（STS）の合体業が生む“レジリエンスカ”で社会の復興を後押しする

売上高推移



CSVと“レジリエンスカ”の強化により更なる高成長軌道へ



**ご清聴ありがとうございました。**